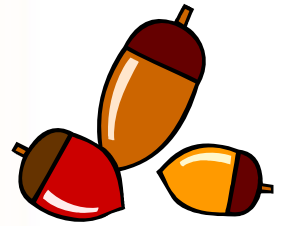


# 川上ダム通信

2012  
11  
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 第3回ダム検証幹事会を伊賀市で開催

平成23年1月に川上ダム建設事業の検証を目的として設置した「川上ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」の第3回幹事会が、平成24年10月1日に青山ホール（伊賀市阿保）にて開催されました。

今回の幹事会では、ダム検証の検討手順に従い、複数の利水対策案の立案についての説明を行いました。利水対策案は、川上ダムの利水の目的である「新規利水」、「流水の正常な機能の維持」、「既設ダムの堆砂除去のための代替補給」の目的毎に立案しています。

また、これに先立ち、前回の幹事会において要請があった上野地区の治水対策の経緯についての説明として、上野地区は地形条件からこれまでに多くの洪水被害があり、その被害を軽減するために現在の治水対策が計画されていることを紹介しました。

今回は、川上ダムの地元である伊賀市での開催となったこともあり、多くの方が傍聴に来られました。



多くの方が傍聴に訪れました

今後ともスピード感を持って、かつ予断無く川上ダム事業にかかる検証を進めて参ります。

なお、当日の幹事会資料は、川上ダムのホームページからもご覧頂けます。トップページの下の方にある **川上ダム建設事業の検証に係る検討について** をクリックすると資料を掲載しているページにジャンプします。

【調査設計課 大谷知樹】



事務局を代表して挨拶する  
水資源機構関西支社 原支社長

## 台風17号襲来！避難勧告発令！

大型で強い台風17号が三重県付近を通過した9月30日、伊賀市では主に木津川沿いで浸水被害が発生し、636世帯に避難勧告が発令されました。

前深瀬川上流域にある高尾雨量局では、9月30日15時から16時にかけて時間51mmという激しい雨を観測しています。「時間50mmの雨」というのはバケツをひっくり返した様な強い雨で、この雨によって木津川の水位が一気に上がり、水防の基準地点である依那古で、一時、氾濫危険水位を超えました。今回の台風は、床上・床下浸水、河川護岸洗掘等、各地に爪痕を残しました。被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。 【調査設計課 本田真章】



9月30日16時30分頃の前深瀬川の様子  
(羽根橋より前深瀬川・木津川合流点方面を望む)

☆平成24年台風17号(速報)を、川上ダムのホームページに掲載しています。是非ご覧下さい。☆

# 青山美杉線の工事進捗状況

## 貯水池横断橋工事

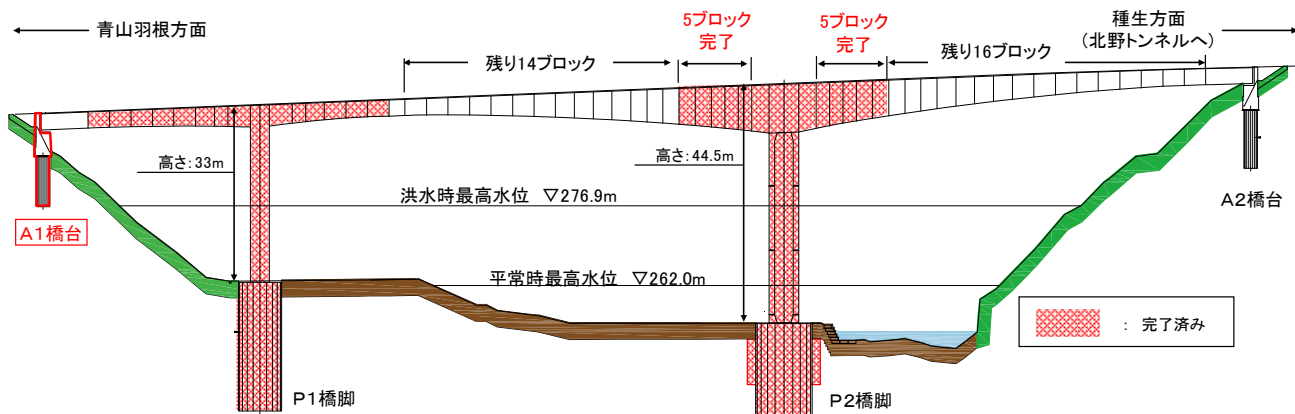
貯水池横断橋のP2橋脚は、現在、5ブロックまでの施工を完了しています。次号でお知らせする頃にはさらに3ブロックの施工が進み、P1橋脚とほぼ同じ長さの手を伸ばした「やじろべえ」が登場する予定です。

また、11月上旬から橋梁と道路を繋ぐための橋台のうち、P1橋脚側のA1橋台の施工が始まる予定です。



## 貯水池横断橋(猫また大橋)工事 進捗状況図

平成24年10月24日現在



## 第2工区(その4)工事

第2工区(その4)工事は、橋梁と既設道路が繋がる区間の土の掘削作業を実施しています。

## 貯水池横断橋上流部整備工事

貯水池横断橋上流部整備工事は、掘削作業を完了し、道路の土台となる補強土壁(垂直なコンクリートの壁)の施工を実施しています。現在、地面から約8mの高さまで施工を完了しています。【工事課 廣瀬早苗】



貯水池横断橋上流部整備工事  
補強土壁 施工状況



# 水の調査隊がやって来た！

9月27日（木）に、青山小学校4年生84名が「水の調査隊」として川上ダム建設所にやってきました。

この「水の調査隊」は、伊賀市内の小学生を対象に「水の大切さ」や「生き物の保全」等について理解を深めてもらうことを目的として、川上ダムの現場見学等を行っているものです。

今回の水の調査隊では現場見学をより効果的なものとするために、前日（9月26日）に教室で水の大切さや川上ダムの環境保全の取り組み等について勉強してもらいました。



水の大切さについて勉強中



オオサンショウウオに興味津々な隊員達

現場見学では、仮排水路トンネル※とオオサンショウウオ保護池の見学を行いました。子供たちは、仮排水路トンネルではその大きさと長さに驚きの声をあげ、オオサンショウウオ保護池では体長約60cm、体重約1.4kgのオオサンショウウオを間近で観察し、歓喜の声をあげていました。

当事務所では、今後も地域の未来を担う子供たちに、水の大切さや環境などについて楽しく学べる機会を提供していきたいと考えています。

【総務課 湯本洋】

※ダム本体築造に先立ち、工事範囲に川の水が入らないように川の流れを切り替えるための施設で、直径4.4m、延長276.5m。

## 環境用語 Ⅶ …世界遺産…

**世界遺産**とは、世界人類共通の財産として、将来の世代に伝達していくべき重要な宝物です。

この財産を保護・保存における国際的援助体制の確立することを目的にした世界遺産条約は、1972年に国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）総会で採択され、日本は1992年に締結しています。<sup>1)</sup>

世界遺産には、文化遺産と自然遺産があり、自然遺産に登録されるためには4つの評価基準「自然美」「地形・地質」「生態系」「生物多様性」のいずれかを満たす必要があります。

国内では、『白神山地（青森県・秋田県）1993年登録』、『屋久島（鹿児島県）1993年登録』、『知床（北海道）2005年登録』、『小笠原諸島（東京都）2011年登録』の4箇所が登録されています。

ちなみに、三重県内では世界遺産（自然遺産）ではありませんが、世界遺産（文化遺産）として『紀伊山地の霊場と参詣道』が登録されています。秋の散策に、この地を訪れてみてはいかがでしょうか。

【環境課 笹原智弘】

～世界遺産（自然遺産）の評価基準～<sup>2)</sup>

自然美	最上級の自然現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。（屋久島）
地形・地質	生命進化の記録や、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形学的又は自然地理学的特徴といった、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
生態系	陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。（知床）（白神山地）（小笠原）（屋久島）
生物多様性	学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。（知床）

1) 2) は、環境省リーフレット『日本の世界自然遺産』より引用

# 阿保・羽根・川上の歴史探訪

## 第3回 大村神社は延喜式、百々池は百済人

近鉄の青山町駅を降り、阿保の街に向かうと、左前方にひときわ大きい緑の森が見えてきます。この森は、第11代垂仁天皇の皇子で阿保村の開祖だった息速別命をお祀りした『大村神社』の神域です。

阿保と羽根、川上の人達が参拝される時には、東向きの大鳥居から社殿まで129の石段が待っています。

大村神社は延喜式という平安時代の初期に書かれた文献に載せられている古い神社ですが、この神社には『阿保の郷の由来写録記』という古文書も残されていますので、その一部分を読みました。

”阿保の里は、第7代孝霊天皇の時代に伊賀津姫の領地となり、この地方では一番早く農地が開墾され、男女8人が藁屋根の家3つを掘って生活した”と書かれています。ここでは家を”建てた”と言わず、”掘った”と言うのは、竪穴住居を造ったということになります。

歳月が過ぎ、大化元年(645年)になると、伊賀郡の初代郡司(郡の長官)として中央政府から”新嘉良”という人が派遣されてきたそうです。この名前を「シンカラ」と読むのだとしたら、新しく加羅(韓国のこと)又は唐(中国のこと)から渡来してきた人だと思われま

す。古代の日本は、朝鮮半島方面から集団的な移民の渡来が何回かあったようで、特に百済の国からは、織物、焼物、農耕などの技術者が数多く入国しています。

阿保にも移民の形跡があり、青山中学校の西にある百々池については、明治17年の地誌取調上申書に「クダライケ」と、ふり仮名が書かれています。この池の水は長年にわたり灌漑用水として利用されており、付近を流れる城川を経由して木津川(笛吹橋のすぐ上流)に流れ込んでいます。【松本仁志】



大村神社の社殿



社殿までは129段



百々池の風景

## イベントのお知らせ

### 大村神社秋祭り

11月2日・3日は大村神社の秋祭りが催されます。2日の宵宮には境内・参道に明かりが灯され保存会の方々による伝統神事の獅子舞神楽が奉納されます。境内では笛や太鼓のお囃子が鳴り響き、秋の夜は祭り一色で賑わいます。

開催日：宵宮祭 11月2日(金) 午後6時半～

例大祭 11月3日(土) 午前11時～

開催場所：大村神社(伊賀市阿保1555)

お問い合わせ：大村神社社務所 TEL: 0595-52-1050

### 桐ヶ丘フェスタ2012

吹奏楽演奏、ダンス、マジックショー等のアトラクションの他、フリーマーケット、朝市、飲食コーナーもあるお祭りです。当建設所もダムと水に関するブースを出展予定です。

開催日：11月10日(土) 午前10時～午後3時半(荒天中止)

開催場所：桐ヶ丘3丁目駐車場(旧Aコープ駐車場周辺)

お問い合わせ：桐ヶ丘地区住民自治協議会 TEL: 0595-52-0204

## 編集後記

実りの秋、収穫の秋となりました。今年は2つの台風が伊賀地域に襲来しましたが、作物への影響はどうだったのでしょうか？

感謝の気持ちを忘れずに秋の味覚を楽しみたいと思います。



ISO14001: 2004

JQA-EM5769

### 【広報誌発行事務局】

編集長 神矢(所長)

デスク 大友(総務課長) 田中(工務課長)

記者 湯本(総務課) 松高(第二用地課)

本田(調査設計課) 笹原(環境課)

廣瀬(工事課)

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。

宛先 〒518-0294 三重県伊賀市阿保251番地 独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所 メール somu1@lily.ocn.ne.jp